

農 経 新 聞

農 経 新 聞

株式会社 農経新聞社
 東京都品川区西五反田
 1-27-6 市原ビル9F
 (郵便番号 141-0031)
 電話 東京 (03)3491-0360
 F A X (03)3491-0526
 ホームページ
<http://www.nokei.jp>
 郵便振替 0108-8-156982

都市農家の差別化めざせ

川崎北部市場で品種見本市

青果育種研

卸売会社と種苗メーカー
 で組織する青果育種研究会
 (会長 川宮本修・東京青果

専務、会員66社)は、川崎
 市中央卸売市場北部市場で
 「第1338回品種見本市」

を

開催、生産者や流通、種苗関係者ら約150人が訪
 資材を紹介した。生産者に
 川崎市には、特色ある専
 業農家が多いことから、都
 市農家の顔が見える元気な
 「野菜づくり」をテーマに15
 社が出展、推奨品種44種や



種苗各社がいち押しの方提案を
 アピール(上)の食ベッタ
 注目を集めた「アレッタ」

として経営の軸となる主要品種に加え、イタリヤ野菜や、サイズや色に個性のあるものなど差別化品種も多
 初参加のバイオニアエゴサイエンス(東京都港区)は、「マウロの地中海トマト」と名付けたブランドシリーズのトマト11品種の中から新商品を含む6種類「シンシリアンルーシユ・ロツンナポリタン」「ピッコロカナリア」「トスカナバイオレット」「アマルフィの誘惑」「ヘネチアンサンセツト」を紹介。トマトに特化した多品種の提案が注目を集めていた。
 プロッコリーを中心に育種しているナコス(三重県津市)は、プロッコリーとケールを組み合わせてできた新野菜「アレッタ」を紹

介した。農業登録上、なほな類とされているため、味のよい葉も食用できることが大きな特徴。側枝を収穫する前の頂花蕾と側枝花蕾を一緒に収穫し、葉・莖、つぼみの全部を味わおう、とユニークな提案をした。
 セミナーでは、同市場仲卸・初岩北部青果の岩崎平太郎社長が「ガンバレー地場野菜生産者」と題し、講演。「市場が物流、生産性を優先したために、見過された品種がある」と述べ、これからは「本当に美味しい野菜を食べてもらえるよう、生産者、卸売、スーパーが連携して戦略提案していきたい」、そのためにも「種苗会社には長い戦略の中で、種の提案をしてほしい」と話した。
 (篠原久仁子)